

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育支援サカセル ペンタス		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 13日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 13日		2026年 2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	土曜日のイベントだけでなく、平日も運動デイやレクデイ、工作デイ、クッキング、公園遊びなど様々な活動を実施し、活動内容の充実を図っている。子どもが意欲的に関わることができるよう活動内容を工夫し、楽しみながら主体的に参加できる環境づくりに努めている。	こどもの「やってみよう」という気持ちを大切に、挑戦する意欲を引き出せるよう支援を行っている。日頃からこどもの興味・関心を把握するよう努め、それぞれの特性や関心に応じた活動に繋げることで、無理なく活動に参加できるような環境づくりを行っている。また、活動が円滑に進むよう備品などについても事前に準備を行い、安心して活動に取り組める環境を整えている。	活動が偏らないように、職員全員でアイデアを出し合って活動内容を考えていく。
2	月に一回、体幹トレーニングと食育教室をそれぞれ実施している。	集団活動の中で挑戦することの喜びや達成感を感じると共に、失敗しても大丈夫という安心感を得ることで自己肯定感や自信の育成に繋げている。食育教室では、自分の苦手な食物を美味しく食べる友達の姿を見ることで、「食べてみようかな」という気持ちが芽生え、実際に食べられるようになるなど、相互の影響による前向きな変化も見られている。また、食育活動の一環として、プランターにトマト、ピーマン、ナス、プロッコリー等の苗を自分たちで植え、当番制で水やりを行い、収穫後にクッキングをして食べるといった一連の流れを経験できるような活動を実施している。	外部の専門講師との連携を図り、専門的視点からの意見やアドバイスを取り込み、在籍する理学療法士、保育士、児童指導員など有資格者が日々の活動の中に取り入れ、より深い活動内容になるよう努めていく。
3	土曜日や長期休みには、様々なイベントを計画し、子どもたちが多様な経験を積むことができる機会を設けている。また、就労継続支援事業所との連携を図り、大人が働く姿を見学したり、就労体験を行うなど、将来の自立や就労を見据えた支援に取り組んでいる。	イベントの中で買い物学習や公共交通機関の乗車ルールを学ぶ機会を設け、日常生活に必要な社会的ルールやマナーを実践的に身につけられるよう支援している。さらに就労体験等の活動を通して、働くことへの理解を深め、将来の自立に向けた力を育むことができるよう支援を行っている。	活動を考える際には、4つの基本活動のひとつである「こどもが主体的に参画できる活動」を実践するために、こどもの意見を取り入れ、こどもが主体性を発揮しながら参加できる活動を計画していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	民家を療育支援の場として借用している為、十分な活動スペースはあるが、死角になる部分があり、全体の把握が難しい。	活動スペース以外の玄関、廊下、階段下の部分が死角になりやすい。部屋が区切られているため、全体を見渡すことができない。	引き続き、各部屋に職員を必ず配置し、こどもの人数や活動によっては、職員の配置場所や配置数を状況に応じて調整していく。その上で、職員全員が安全面に十分に配慮する。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の提供ができていない、またきょうだい同士で交流する機会を設けることができていない。	各ご家庭における子育ての悩みや、家族・きょうだい関係の状況把握などの対応が十分に行えていない。	保護者とのコミュニケーションを深め、家庭環境やきょうだい間の課題を把握した上で、適切な家族支援を考えていき、家族やきょうだい間の課題を多角的にフォローできる体制を整えていく。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	プライバシー問題や特性への理解の不安から、なかなか機会を設けられていない。交流の機会を設ける以前の話合いの場を設ける時間の確保が難しい。	公園遊び・買い物学習・科学館や工場見学・芋ほり体験・みかん狩り体験のイベントなど、地域のこどもや大人と関わる機会を多数設定している。その中で、人と関わる力を育て、地域社会での自分の居場所や役割を見つけれられるよう支援していく。